

玄関用自在手すり ツインディ

お客様ご相談窓口のご案内

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

修理・お手入れ・お取扱い・工事などのご相談は、
まずお買い求めの販売店・工事店へお申し付けください。

パナソニック エイジフリー株式会社
〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048
<http://sumai.panasonic.jp/agefree/products>

法人のお客様・製品・在庫に関するお問合せ
TEL 06-6906-8141

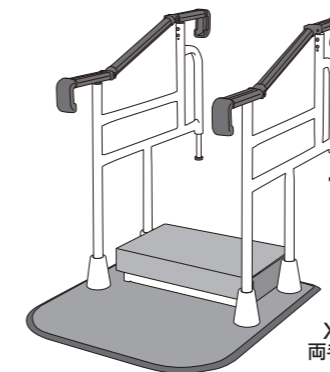
個人のお客様・製品に関するお問合せ



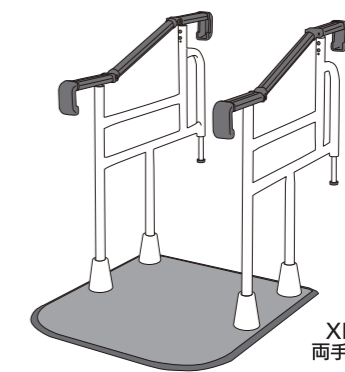
0120-365887 受付時間 9:00~17:30
(土、日、祝日休み)

施工説明書

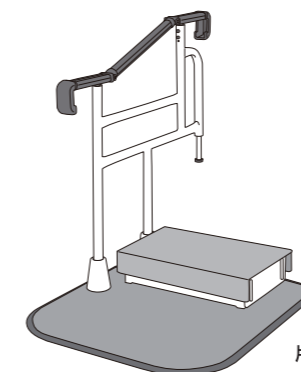
品番 XPN-L80201 両手すり踏み台付き
XPN-L80202 両手すり踏み台なし
XPN-L80203 片手すり踏み台付き
XPN-L80204 片手すり踏み台なし



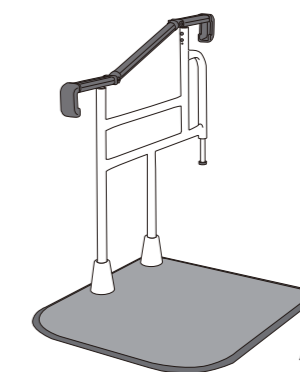
XPN-L80201
両手すり踏み台付き



XPN-L80202
両手すり踏み台なし



XPN-L80203
片手すり踏み台付き



XPN-L80204
片手すり踏み台なし

目次

■ 安全上のご注意…………… P2~3	■ 設置方法…………… P8
■ 製品品番表…………… P4	■ 高さ調整方法…………… P9~10
■ 部品の確認…………… P4	■ 施工後のチェック…………… P11
■ 設置場所…………… P5	■ お客様ご相談窓口のご案内… P12
■ 施工のしかた…………… P5~7	

パナソニック エイジフリー株式会社

本社 〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048 代表 TEL06(6908)8122

■ 安全上のご注意 ■ 必ずお守りください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告 「死亡や重傷などを負うおそれがある内容」です。

注意 「軽症を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています(次は図記号の例です)

禁止 してはいけない内容です。

注意 実行しなければならない内容です。

警告

禁止 ■ 柔らかい床、凹凸、段差、傾斜のある床では使用しない。
手すりが不安定となり、転倒してケガをするおそれがあります。

禁止 ■ 火気やストーブ、ファンヒーターのそばで使用しない。
火災や火傷の原因となり大変危険です。また、熱で変質や破損を引き起こしたり、事故の原因となります。

禁止 ■ 屋外や浴室などの水やお湯に濡れる場所では使用しない。
腐食による破損や変形を引き起こし、事故の原因となります。

禁止 ■ お客様による分解、改造、修理はおこなわない。
性能の低下を引き起こし、事故の原因となります。

禁止 ■ 本製品は単独で使用する製品です。絶対に他の製品と組み合わせたり、連結して使用しない。
破損やケガの原因となります。また、他社の製品を組み合わせた製作物の安全は保証できません。

禁止 ■ 手すりの高さ調整ネジ、手すりフレーム取り付けネジ、踏み台の高さ調整ネジ、踏み台取り付けネジの締め具合を確認しないまま使用しない。
手すりが不安定となり、転倒してケガをするおそれがあります。点検で各ネジに異常が見られる場合は使用せず、部品交換してください。

禁止 ■ 手すりの高さや位置をご利用者の身体状態に合わないまま使用しない。
手すりの高さや位置はご利用者の身体状態に合わせ、適切な設定と設置をおこなってください。身体状態に合わない無理な高さや位置で使用すると体を痛めたり、転倒してケガをするおそれがあります。

禁止 ■ 商品梱包用のポリ袋やシートはかぶらない。
窒息するおそれがあります。

禁止 ■ アジャスターは25mm以上伸ばして使用しない。
手すりが不安定となり、転倒してケガをするおそれがあります。

必ず守る ■ 定期的に部品の破損、ネジのゆるみ、ガタツキ、また異常がない事を確認する。
異常が発生した場合は直ちに使用をやめ、販売店や貸与事業者に相談してください。地震の後は異常がないことを確認してから使用してください。

必ず守る ■ 設置後、ガタツキ、ネジのゆるみ、締め忘れがないことを必ず確認する。
手すりが不安定となり、転倒してケガをするおそれがあります。

必ず守る ■ 固定式ではないため設置後の安定性、ご利用者の状況を確認の上使用する。
転倒などの事故の原因となります。

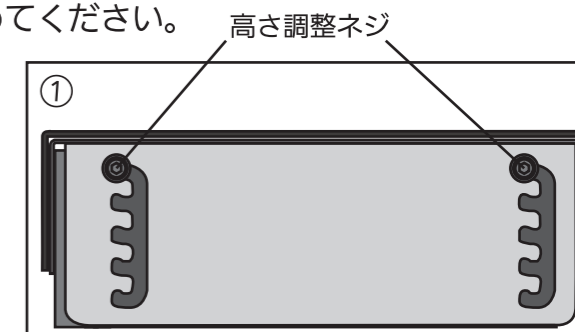
● 踏み台の高さ調整（踏み台付きタイプのみ）

（付属六角レンチ（呼び5）を使用してください。）

踏み台の高さは10.8cm～18cmの5段階調整できます。

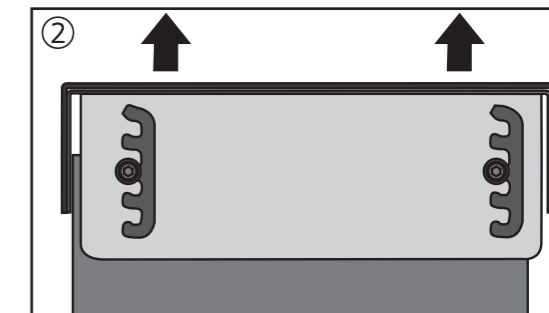
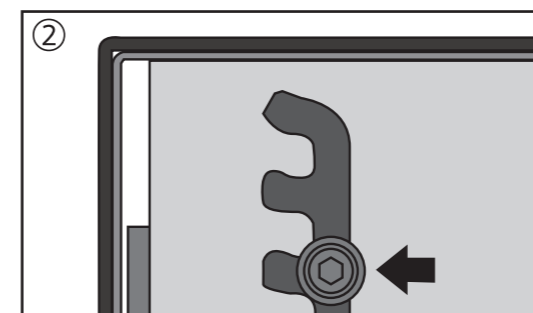
① 踏み台側面の高さ調整ネジ4箇所を3回転程度ゆるめてください。

※高さ調整ネジは、はずさないでください。



※ネジは取り外さなくても高さ調整ができます。

② 踏み台の天板の持ち上げ、側面の高さ調整溝に合わせて高さ調整をしてください。



※必ずネジ（4箇所とも）がイラストのように同じ高さの溝にはまっているか確認する。

③ 高さ調整を合わせた後、高さ調整ネジ4箇所を締め付けてください。（推奨トルク4N・m）



注意 ■ 踏み台の取り付け方向は必ず守る。
足をはさんで、転倒やケガのおそれがあります。

■ 施工後のチェック

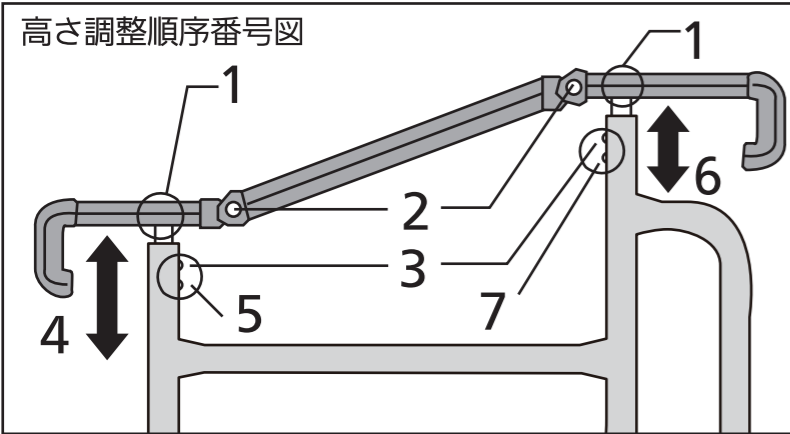
施工後のチェックリスト

No.	項目	内容	参照ページ	チェック
1	手すりフレームの固定	ネジがしっかり締め付けられている（8箇所）	5ページ	
2		前後方向が間違いなく取り付けられている	5ページ	
3	アジャスターの固定	アジャスターがかまち床に全面接触している	8ページ	
4		アジャスター固定ネジがしっかり締め付けられている	8ページ	
5		アジャスターが25mm以上伸びていない	8ページ	
6	手すり部の固定	高さ調整ネジがしっかり締め付けられている（4箇所）	10ページ	
7		ジョイント固定ネジがしっかり締め付けられている（2箇所）	10ページ	
8		手すり固定ネジがしっかり締め付けられている（4箇所）	10ページ	
9	支柱カバーの確認	支柱カバーが取り付けられている（2箇所）	6ページ	
10	踏み台	踏み台取り付けネジがしっかり締め付けられている（4箇所）	7ページ	
11		高さ調整ネジが高さ調整溝におさまっている（4箇所）	11ページ	
12		踏み台側面のラベル通り踏み台が取り付けられている	7ページ	
13	設置確認	手すりを前後左右に軽くゆらして、安定性やガタツキを確認する	—	
14	ベースの設置	床面にガタツキがなく接触している	8ページ	

※両手すりの場合は必ず両方の手すりを確認してください。

●手すりの高さ調整

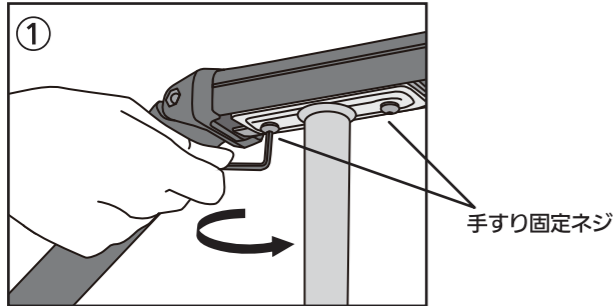
(付属六角レンチ(呼び3)を使用してください。)



●各部名称と位置

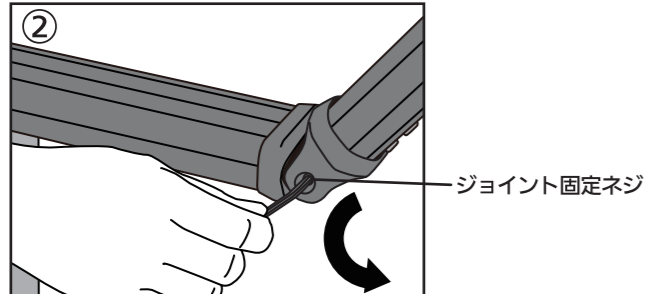
- | | |
|-------------|----------------|
| 1.手すり固定ネジ | 5.高さ調整ネジ(土間側) |
| 2.ジョイント固定ネジ | 6.かまち側手すり |
| 3.高さ調整ネジ | 7.高さ調整ネジ(かまち側) |
| 4.土間側手すり | |

①手すり裏にある手すり固定ネジ4箇所(土間側2箇所・かまち側2箇所)をゆるめてください。【番号図1】



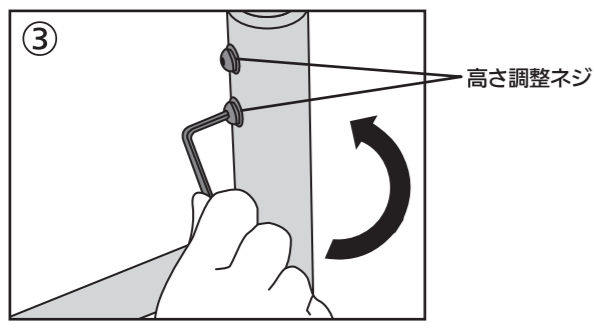
注意 ■手すり固定ネジは外れにくく、加工しています。無理に外そうとすると、部品が破損するおそれがあります。

②ジョイント固定ネジ2箇所を1回転程度ゆるめてください。【番号図2】



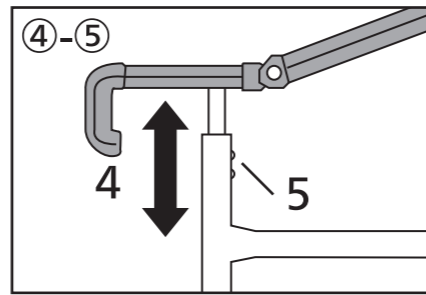
注意 ■ジョイント固定ネジは、取り外さないでください。ゆるみ止めナットを使用しているため、一度ネジを取り外してしまうとゆるみ止め機能が失われます。

③土間側、かまち側の高さ調整ネジ4箇所を外してください。【番号図3】



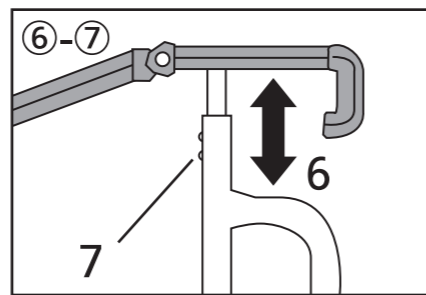
④土間側の手すりを固定する高さまで上下にスライドさせてください。【番号図4】

⑤高さ調整ネジ(土間側)2箇所を締め付けてください。(推奨トルク3N・m)【番号図5】



⑥かまち側の手すりの高さを固定する高さまで上下にスライドさせてください。【番号図6】

⑦高さ調整ネジ(かまち側)2箇所を締め付けてください。(推奨トルク3N・m)【番号図7】



⑧手すりを使いやすい位置にスライドさせ手すり裏にある手すり固定ネジ4箇所とジョイント固定ネジ2箇所をしめつけてください。(推奨トルク4N・m)【番号図1】

作業完了後、各部のネジがしっかり取り付いているか必ず確認してください。

⚠注意



■タワシや歯磨き粉、研磨剤入りのスポンジなど、あるいは塩素系洗剤、アルカリ性洗剤、酸性洗剤、シンナー、クレゾールなどは使用しない。
劣化や変形など著しく性能が低下するおそれがあります。



■推奨トルク以上で締め付けない。破損するおそれがあります。



■踏み台はかまちの中に入れて設置しない。
踏み台の面積が少なくなり転倒してケガをするおそれがあります。



■踏み台はかまちから2cm以上離して設置しない。
すきまに手や足がはさまり、転倒してケガをするおそれがあります。



■結露した場合は乾いた布などで拭き取る。
室内環境によって本製品の金属部分に結露が発生するおそれがあります。結露した状態で放置するとカビを発生させる原因になります。常に拭き取ってからご使用ください。



■持ち運びの際は商品が落下しないよう注意する。
各部のネジがゆるんでいないことを確認してください。手すりの変形・破損・ケガの原因となります。



■製品に異常を見つけた場合は使用を中止する。
正しく設置できない場合や機能を損なう状態の場合は直ちにご使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。



■組み立て、高さ調整は、納入業者の方がおこなう。
正しく組み立て、高さ調整ができていない場合、手すりが不安定となり転倒などの事故の原因となります。



■製品は直射日光の当たらない常温常温の室内で保管する。
高温多湿の場所で保管しますと、変形、結合部の外れの原因になります。



■ベース及び手すりフレームは必ず指定の位置に指定のネジで固定する。
手すりが変形したり、性能の低下を引き起こし事故の原因となります。



■ネジはネジ穴に対してまっすぐ締め付ける。
無理に締め付けるとネジ山の破損の原因になります。



■ベース設置の際に手や足を挟まないように十分注意して設置する。
ケガの原因となります。



■支柱カバーを必ず使用する。
支柱部につまづき、転倒してケガをするおそれがあります。

製品品番表

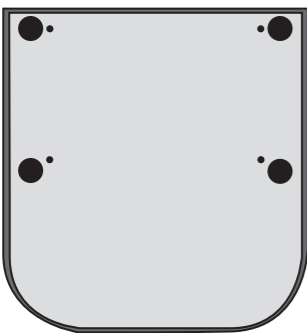
	両手すり踏み台付き	両手すり踏み台なし	片手すり踏み台付き	片手すり踏み台なし
セット品番	XPN-L80201	XPN-L80202	XPN-L80203	XPN-L80204
ベース	PN-L80201			
手すり	PN-L80202			
踏み台	PN-L80203	—	PN-L80203	—

部品の確認

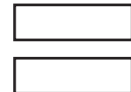
・開封後、まず同梱部品を確認してください。

!ベース

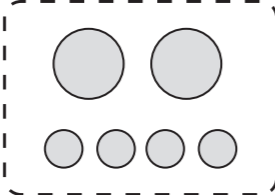
ベース



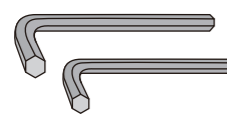
両面テープ 2枚



穴ふさぎキャップ 大2個・小4個

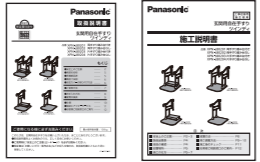


六角レンチ 大(呼び5) 小(呼び3)



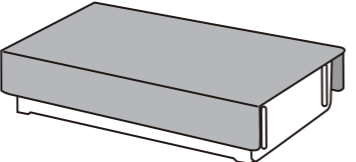
保証書 1部

取扱説明書・施工説明書 各1冊




#踏み台

踏み台 1個



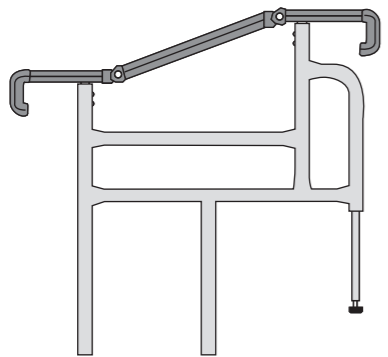
踏み台用 取り付けネジ 4個



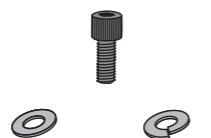
※踏み台は踏み台付きのみに付属します。

”手すり


手すりフレーム



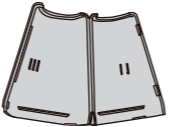
手すりフレーム 取り付けネジ 各8個



平ワッシャー スプリングワッシャー



支柱カバー 2個

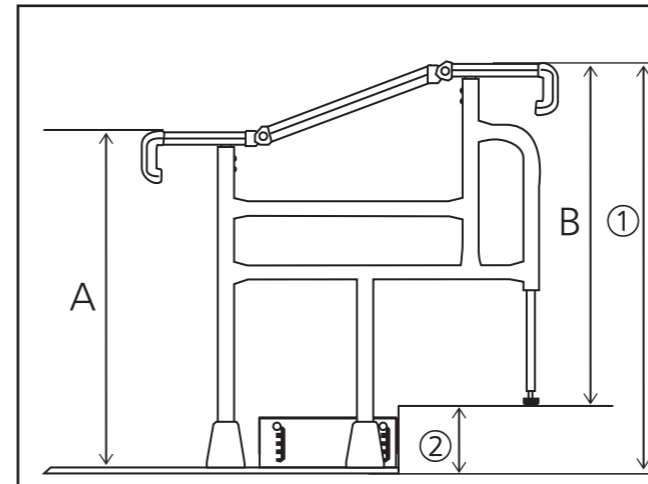


高さ調整方法

土間側、かまち側それぞれで床面からの手すりの高さ調整が可能です。

- ・土間側手すりの高さ調整範囲 72.5cm～82.5cm
- ・かまち側手すりの高さ調整範囲は、土間側手すりの高さ、かまちは高さによって変わります。

以下の表の計算式から、各土間側手すりの高さでの、かまち側手すりの高さ調整範囲が計算できます。



土間側手すり高さ A	かまち側手すりの高さ 調整範囲 B (=①-②)	
72.5cm	88.5cm～108.5cm	かまち高さ
75cm	91.0cm～111.0cm	
77.5cm	93.5cm～113.5cm	
80cm	80.0cm～116.0cm	
82.5cm	98.5cm～118.5cm	

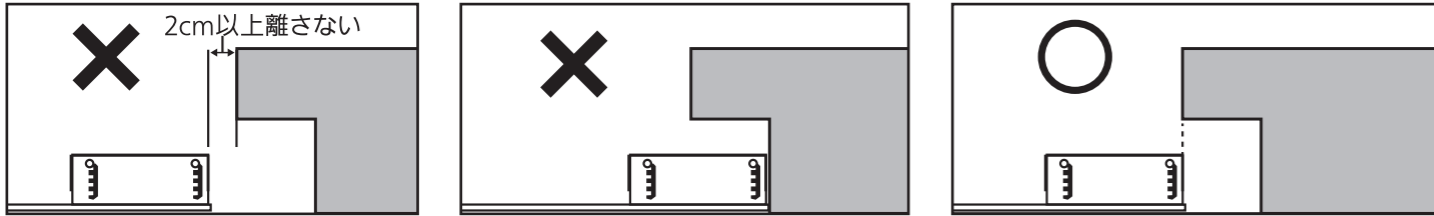
※計算例

かまち高さ②16cm・土間側手すりの高さA 72.5のとき
 かまち側手すりの最低高さ：88.5cm - 16cm = 72.5cm
 かまち側手すりの最高高さ：108.5cm - 16cm = 92.5cm
 かまち側手すりの高さ調整範囲Bは 72.5cm～92.5cmとなります。

■ 設置方法 ■

● ベースの設置

- ① ベースを土間に設置してください。
 踏み台付きの場合は、かまち面と踏み台が一致するように設置してください。

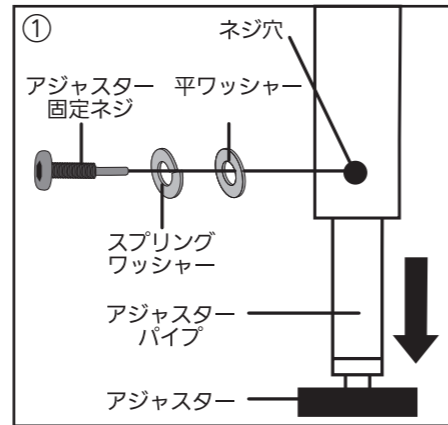


注意

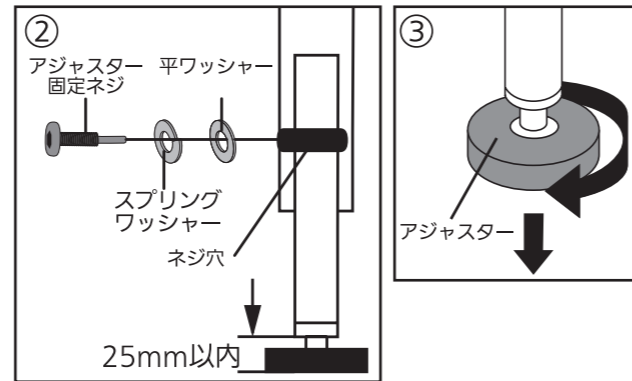
- 踏み台はかまちの中に入れて設置しない。
 踏み台の面積が少なくなり転倒してケガをするおそれがあります。
- 踏み台はかまちから2cm以上離して設置しない。
 すきまに手や足がはさまり、転倒してケガをするおそれがあります。

● アジャスターの調整

- ① アジャスター固定ネジを外し、アジャスターパイプをアジャスターがかまち床面に接触するまでスライドしてください。



- ② アジャスターを時計回りに回し、手すりフレームのネジ穴と最初に重なる位置でアジャスター固定ネジを取り付けてください。(推奨トルク3N・m)



- ③ アジャスターをさらに時計回りに軽く回し、床面にしっかりと接触していることを確認してください。

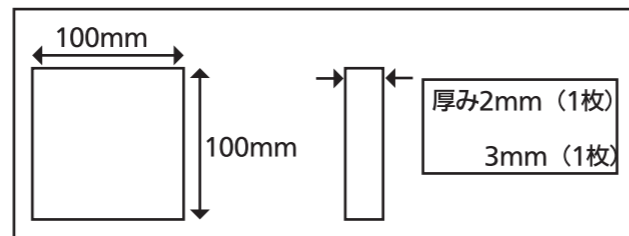


警告

- アジャスターは25mm以上伸ばして使用しない。
 手すりが不安定となり、転倒してケガをするおそれがあります。

設置後ベースにガタツキがある場合は、別売販売部品の段差解消ゴムをご購入の上、床面とベースのすきまに差し込んでください。

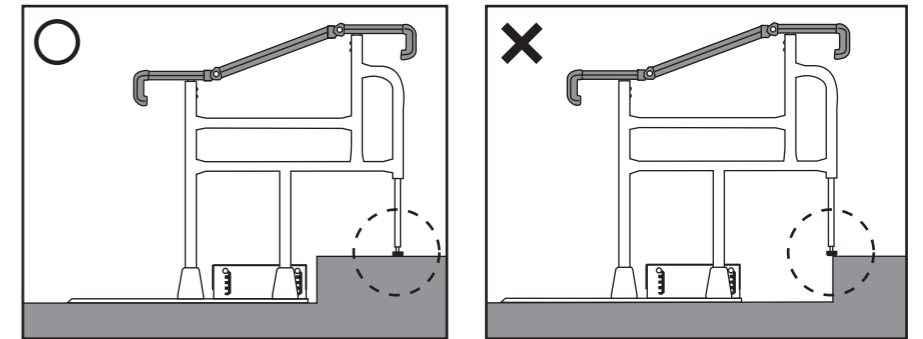
部品名	部品品番
段差解消ゴム	PN-L8020100P
希望小売価格(税抜価格)	
1000円	



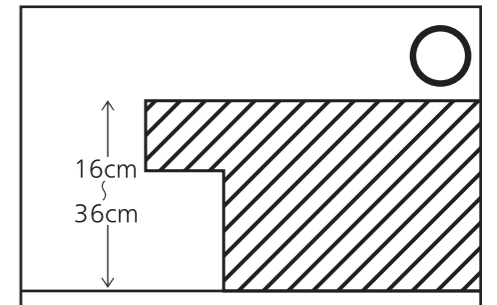
■ 設置場所 ■

下記条件を確認してください。

- かまち高さ調整のアジャスター部が全面設置する場所。



- 高さが16cm~36cmの上りかまち。

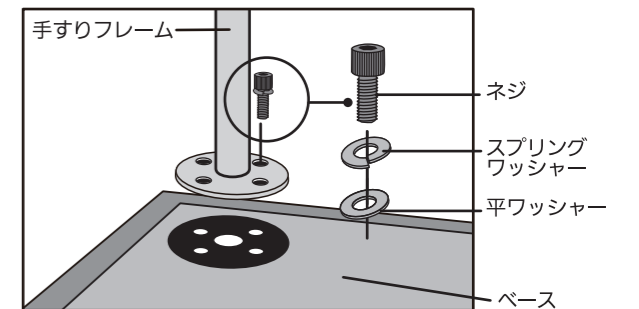


- 直射日光が当たらない場所。

■ 施工のしかた ■

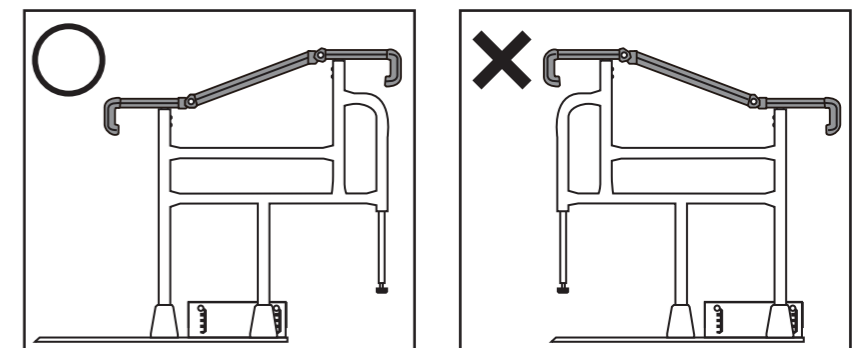
1. 手すりフレームの取り付け

- ① 手すりフレームをベースに取り付けます。
 (六角レンチ(呼び5)を使用してください。)



- ② 手すりフレーム取り付けネジ8本をネジ穴8箇所に合わせて取り付けください。
 (推奨トルク4N・m)

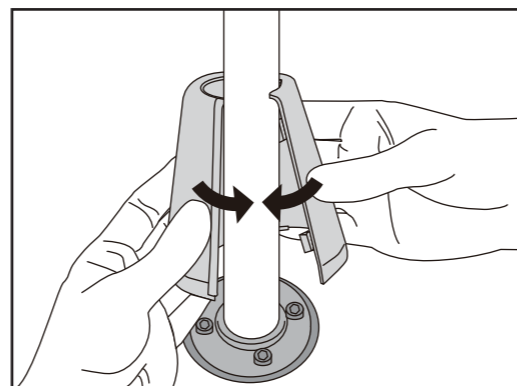
※手すりフレームの取り付け方向を間違えないこと。



2. 支柱カバーの取り付け方法

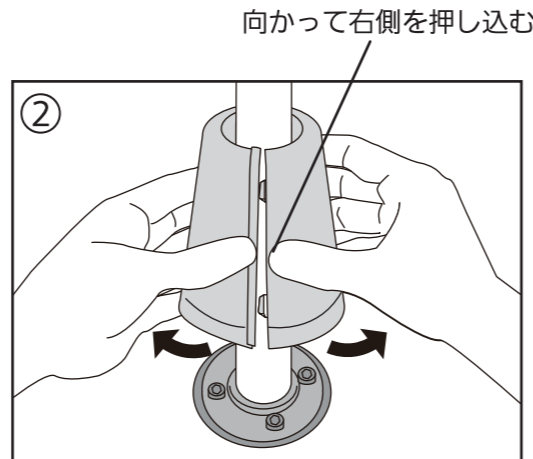
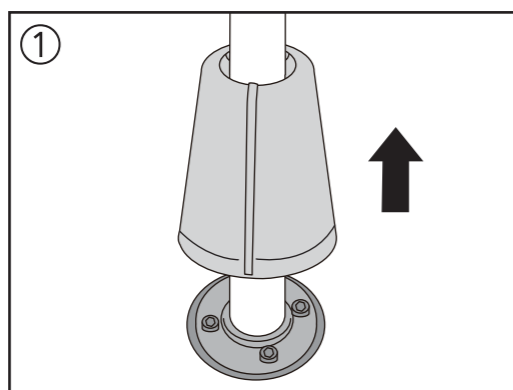
●取り付け方法

右図のように、カバーをしめてください。



●取り外し方法

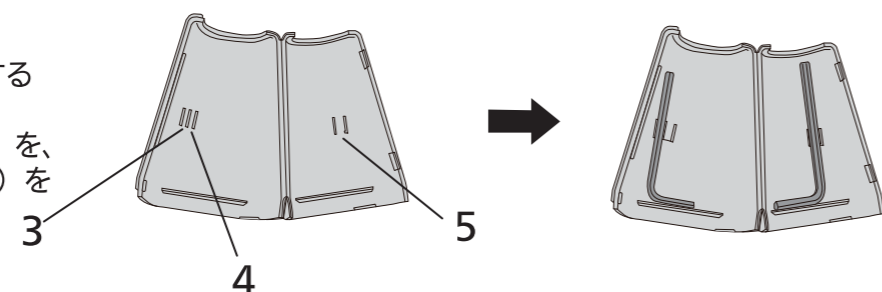
- 支柱カバーを持ち上げる。
- 向かって右側を押し込みながらひらきます。



●六角レンチの入れ方

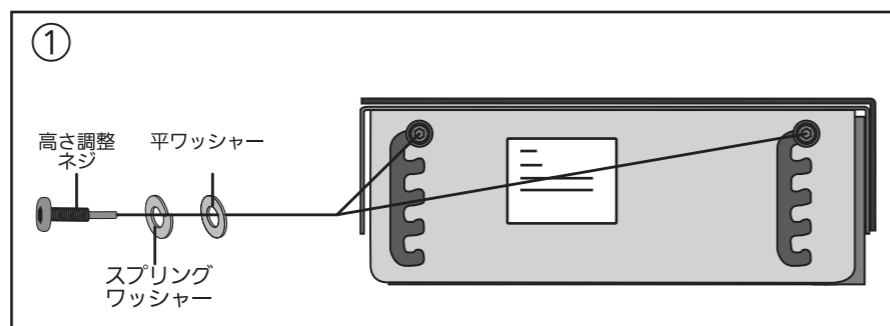
※支柱カバー内に六角レンチを保管することが出来ます。

刻印3の位置に六角レンチ小（呼び3）を、刻印5の位置に六角レンチ大（呼び5）をイラストの方向に入れてください。
※刻印4の位置は使用しません。



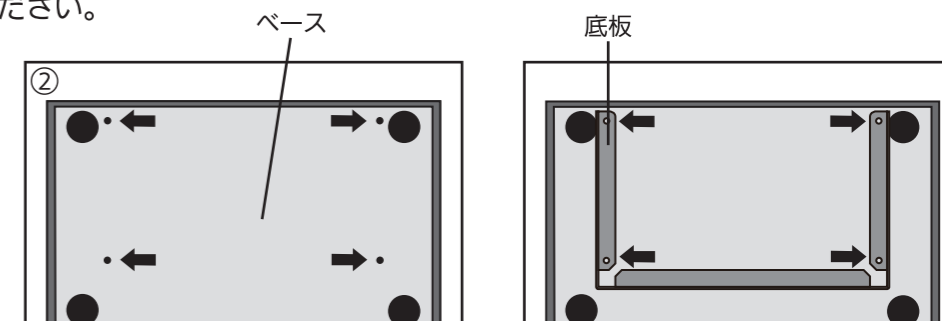
3. 踏み台の取り付け方法（踏み台付きタイプのみ）

- 踏み台側面の高さ調整ネジ4箇所を取り外し、天板を取り外してください。（六角レンチ（呼び5）を使用してください。）



※反対側も同様に取り外します。

- 踏み台取り付けネジ4本をベースのネジ穴に合わせて底板を取り付けてください。（推奨トルク4N・m）

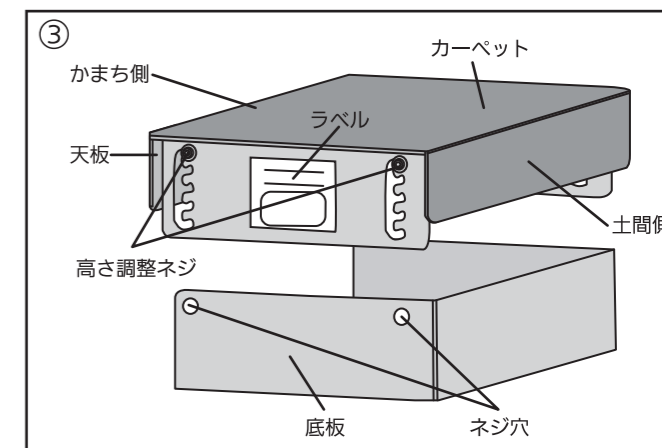


※底板の取り付け方向に注意してください。

- 天板は側面のラベルで設置方向を確認し、底板にはめ込んでください。

- 高さを調整ネジ（4箇所）を締め付けてください。（推奨トルク4N・m）

※踏み台天板のカーペットが垂れ下がっている側が土間側になります。



●マットの不要穴のふさぎかた

片手すりのみの使用や、踏み台を使用しない場合、付属の穴ふさぎキャップでマットの穴ふさぐことができます。

・マットの不要穴のふさぎかた

- 付属両面テープをカットしてください。

大:5cm角 小:1cm角

- カットした両面テープのペーパージュのはくり紙をはがし、穴ふさぎキャップの裏面に貼付けてください。

- 穴ふさぎキャップ大・小をそれぞれ右図の位置の穴をふさいでください。

